

二宮町町民活動推進委員会 第3回議事録

日 時：平成29年11月15日（水） 18：30～20：15

場 所：二宮町役場 第1会議室

出席者：手塚委員長・大河原副委員長・志賀委員・高橋委員・月橋委員
野原委員・村田委員・山岡委員・山田委員

事務局：地域政策課 2名

傍聴者：0名

議題

- (1) 平成30年度町民活動推進補助金について
- (2) 二宮町町民活動サポートセンターの運営について
- (3) 補助金交付団体の活動現場報告及び確認について
- (4) その他

1. 開会

(事務局) これより第3回二宮町町民活動推進委員会を開催する。

今回の議事録署名人は、手塚委員長と村田委員にお願いする。

2. 委員長あいさつ（要旨）

先日は、「市民活動プラザむつあい」と「市民活動推進センター」を視察していただいた。普段通りのスタッフの動きだったので皆さんがどう感じられたか気になるところであるが、今後の二宮町における活動の参考になれば幸いである。

NPOの関係では、行政の財源が縮小傾向であり、補助金が削減されているようである。一方、企業系の補助金は堅調なので、スポンサーとなっていただいている話も耳にするようになった。

今後は、企業系の補助金を財源として市民活動やボランティア活動を支えるという方向になっていくと思う。

3. 議題（要旨）

(1) 平成30年度町民活動推進補助金について

(委員長) 最初にプレゼンテーションの日付を決めたいが、事務局案の3月11日のご都合が悪い方がいるか。

(無しの声あり)

(委員長) 次に募集期間だが、スタート支援は、1月4日から11月30日までとし、随時受付とする。ステップアップ支援は、1月4日から2月8日まででよろしいか。募集の周知はいつ行うのか。

- (事務局) ステップアップ支援の募集期間についてだが2月8日を2月9日までに変更させていただきたい。募集については、12月25日発行の広報でお知らせする。募集のお知らせの冊子はその前後に作成し、公共施設に配架する予定である。
- (委員長) 説明会は行うのか。
- (事務局) 行わない。申請予定団体には、個別で説明する。
- (委員長) 12月25日から相談は受けられるのか。
- (事務局) 相談はいつでも受けられる。
- (委員) 12月25日の広報で、募集期間は1月4日からだと、広報紙が手元に届くまでに、1週間から10日くらいかかる。告知でもよいので、広報紙、ホームページなどで対応できないか。
- (事務局) 広報紙は間に合わないが、ホームページでは可能である。
- (委員) いつ掲載できるか。補助制度があるということを早く知っていただき、多くの団体から応募していただく方がよい。
- (事務局) 補助制度については、すでにホームページに掲載してある。今は、平成29年度のスタート支援の募集を行っている。
- (委員長) 11月30日までは、スタート支援を募集しているので、そこに新年度の募集を行うのは混乱を招く恐れがあるので、12月1日に平成30年度の補助金のお知らせを掲載するというのでいかがか。
- (委員) あくまで29年度の話と30年度の話なので両方載せても良いのではないか。早い時期にお知らせするのが自然ではないか。
- (委員長) それでは、12月1日まではホームページに掲載できるよう対応をお願いする。それよりも早く処理できれば、トピックスを載せていただきたい。
- (委員) 余談だが、ホームページの更新が少ない印象がある。なるべく早く更新する状況を作らないとリニューアルしたホームページがあまり活用されない。なるべく更新をかけていただきたい。
- (委員長) そのほかに、事務局でロゴについても検討いただいたが、補助を受けた団体には、団体が作成するチラシ等には、ロゴではなく、略さず「二宮町町民活動推進補助金対象事業」と明記することでよいか。
- (委員了承)
- (委員) NPOの会計ソフトがあって公開されているものがある。それを積極的に使ってもらような、ある程度会計の枠組みをガイドすることで、団体にとっては、運営が楽にもなるし、報告が楽になるのではないか。使ってくださいだけではだめで、使い方をある程度把握し、指導する必要がある。
- (事務局) 会計ソフトの導入等については、勉強させていただきたい。
- (委員長) 藤沢の市民活動センターでは、夏から秋にかけて、例えば会計の初めの一步講座みたいなものを実施している。領収書をどう扱うかとか、ここに来た交通費を何費で落とすとか、

具体的なことを勉強していただく。自分のお金と団体のお金を分けるというところからやらないと難しい。ソフトを使うより先に基礎講座みたいなものを二宮でも複数回やるのがいいのではないか。

(委員長) 次に要綱改正についてだが、スタート支援及びステップアップ支援の実績報告書は共通のものであったが、今回、スタート支援用とステップアップ支援用の実績報告書が、それぞれ作成されている。その他細かな文言修正があるがいかがか。

(委員) 事務局案のとおりでよいが、記入例は作成するのか。

(事務局) 申請書の冊子に記入例を掲載する。

(2) にのみや町民活動サポートセンターの運営状況について

(委員長) 今後の方向性というところで、登録については、団体育成のため1年ごとの更新に切り替えるという方向性が示された。申請様式は、要綱か何かで定めているか。

(事務局) 書式は、要綱で定めている。更新することとなれば、要綱改正をして、決算書、事業計画書などの提出を位置付ける。

(委員長) 藤沢市では、1枚の申請書ですべて記載していただくようにしている。収入がいくらあったのかなど記載欄は、幅4センチくらいで、そこに記載するだけでいい。そんなに負担感はないと思う。規約の提出は求めている。作成していない団体には、フォーマットを差し上げて、作成していただいている。

(委員) 地域貢献するために活動している団体が、無料でスペースを使うことができる場所である。できるだけ気軽に町民活動をする人を増やしたいので、敷居を高くしないでもらいたい。

(委員長) 毎年更新して、情報を外に出す必要がある。団体活動で、当初のメンバーだけで終わりというのであれば、好きにやっていただいて構わない。ただ、担い手不足などの悩みを抱え始めると、情報を表に出さないとその悩みはぜったいに解決しない。このことを団体は、ぎりぎりになるまで気づかない。

公益性は、出口と入口を開ける必要がある。入る方の入口を開けておく、やめていく方は気軽にやめていけるようにするという。そうすると風通しが良くなり、よく見える状況になる。そういう状況を表に見せるためには、ある程度は何をやっているのか皆に分かってもらう方がよい。

変更するとしたら、いつ実施する予定か。

(事務局) 今年度はむずかしい。来年度、告知しながらタイミングを見越してやる。

(委員長) 年度切り替えは、団体の代表が変わったり、担当者が変わったりし、5月とか6月にならないと名簿が上がってこない。10月頃だともう1回やることとなる。タイミングは見た方がよい。これは、継続審議とする。

次に交流コーナーの予約制を廃止し、フリースペース化することについては如何か。

(委員) 交流コーナーを利用しているが、狭いのでどうなのか。テーブルの固まりが2つあるが、

1 テーブルに 10 名程度座ると窮屈である。違う団体がいると雰囲気的にどうなのか。

(委員長) 藤沢市では、たくさんの方が無料スペースを利用してるが、慣れてくるものである。

(委員) 丸テーブルで小分けにできるようにする。2 グループまでなら良いと思うが。

(委員) 1 回やってみて問題があるようなら、変更すれば良いのではないか。

(委員長) これに関しては、予約を取る手間がいらぬのと空いていけば使えることを推奨して、やってみてあまりにひどければ元に戻す。

(委員) 町民センターを使う方や趣味のサークルの団体が使ってしまうのではないか。

(事務局) 今の予約制度でも、同じことが起きていて、無料で使える会議室だと思われている。何を交流コーナーに期待しているのかというと町民活動をされている方同士が、触れ合って、新しい動きが起こることを期待している。当初予約制で始まったが、今のままだと利用を増やすために趣味の団体に使っていただくしかないような本末転倒になりつつある。そこで、オープンスペースにして町民活動をしている方は、誰でも自由にどうぞといったことに変更したらどうかという提案である。

(委員長) 交流スペースなので、ふらっと来た人が情報を貰える、作業ができるなどに活用できれば良いのではないか。これは試しにやるということにする。

※その他、まちづくり推進員が団体と繋がるようにする声かけに努める。コピー機やレターケースについては現状維持、情報ラックについては予算要求を行うなどの事項を確認した。

(3) 補助金交付団体の活動現場確認について

【現場確認】

東大跡パラスポーツの会：2月7日に高橋委員

二宮総合型地域スポーツ（ラビッツ）クラブ設立準備委員会：11月30日に山岡委員

青少年を育むコンサートの会：12月2日に村田委員

菜の花アートフェスティバル実行委員会：2月11日に手塚委員長、大河原副委員長、野原委員に決まる。

(4) その他

【日程調整】

次回開催（一次審査）：2月23日（金）18時30分～ 第1会議室

公開プレゼンテーションは、3月11日（日）14時～ 町民センター2Aクラブ室